

# 本四高速の料金の方向性について [補足説明資料]

## 本四高速の料金体系(基本料金)

### ○ 本四高速の基本料金と新特別料金 (普通車)

	基本料金		新特別料金(基本料金×0.72)※	
	ターミナルチャージ (円)	km当たり料金 (円/km)	ターミナルチャージ (円)	km当たり料金 (円/km)
算定方法	(海峡部料率×海峡部距離+陸上部料率×陸上部距離+ターミナルチャージ) ×消費税率(1.05)			
陸上部	125	39	90	28.08
海峡部		351		252.72
明石海峡大橋		351×1.6		252.72×1.6

※ H34までの出資延長(800億円/年)を前提に、基本料金をH15以降引下げ

### (参考) 高速自動車国道の料金 (普通車・普通区間)

ターミナルチャージ (円)	km当たり料金 (円/km)
150	24.6

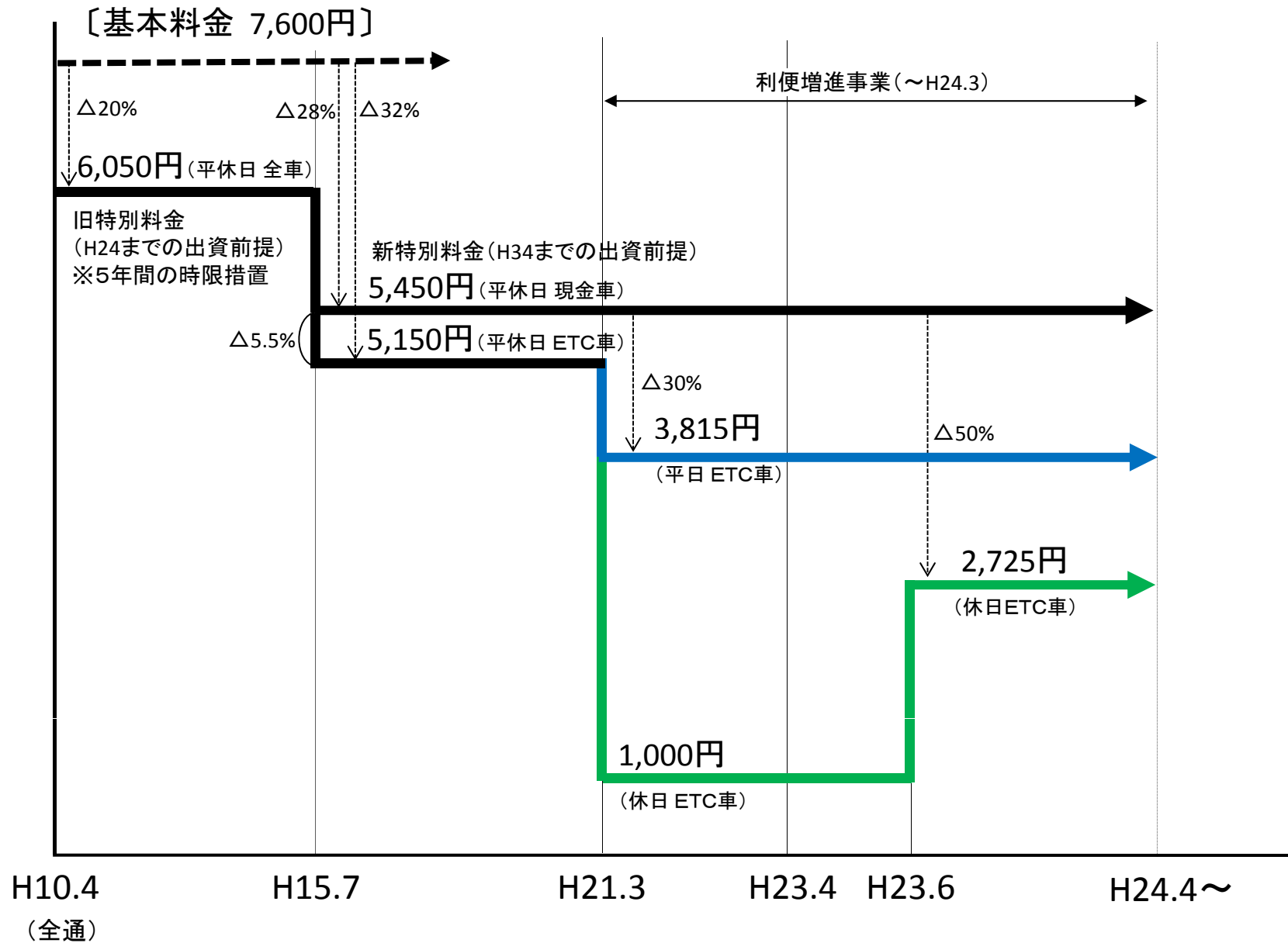
### ○ 本四高速 ルート別料金 (普通車)

(円)

神戸淡路鳴門自動車道		瀬戸中央自動車道		西瀬戸自動車道	
新特別料金	ETC特別割引 (5.5%割引)	新特別料金	ETC特別割引 (5.5%割引)	新特別料金	ETC特別割引 (5.5%割引)
5,450	(5,150)	4,100	(3,874)	4,700	(4,440)

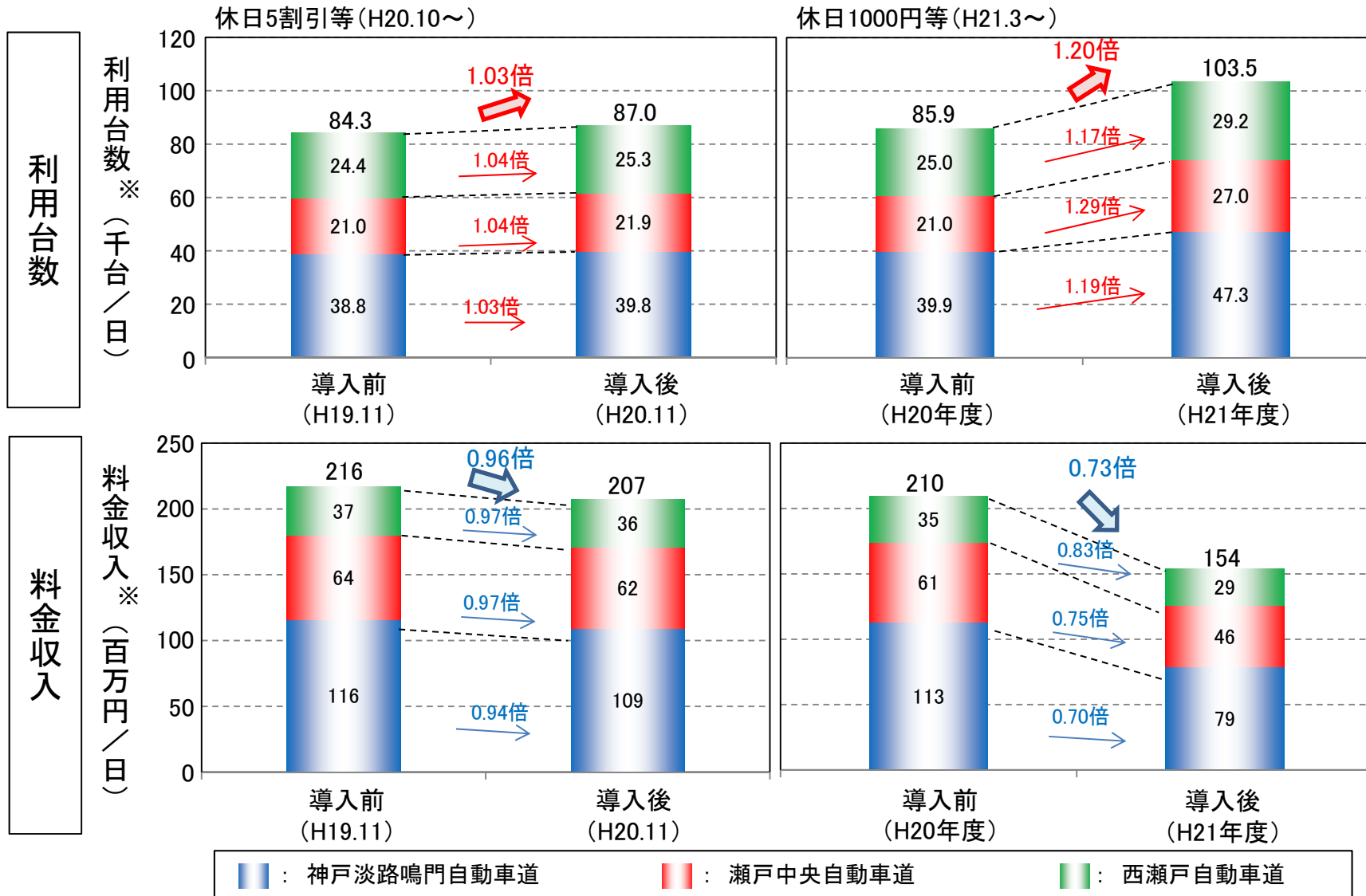
# 本四高速の料金経緯（神戸淡路鳴門自動車道）

※普通車全線利用料金を記載



# 料金割引による利用台数と料金収入の変化(全日、全車)

○割引の導入に伴い利用台数は増加したが、単価の減少により料金収入は減少



(参考) 新特別料金導入前後(H14、H15比較)では、利用台数1.01倍、料金収入0.95倍

※ 本四高速の営業データによる

## 本四高速の利用促進に関する周辺地域の主な取組

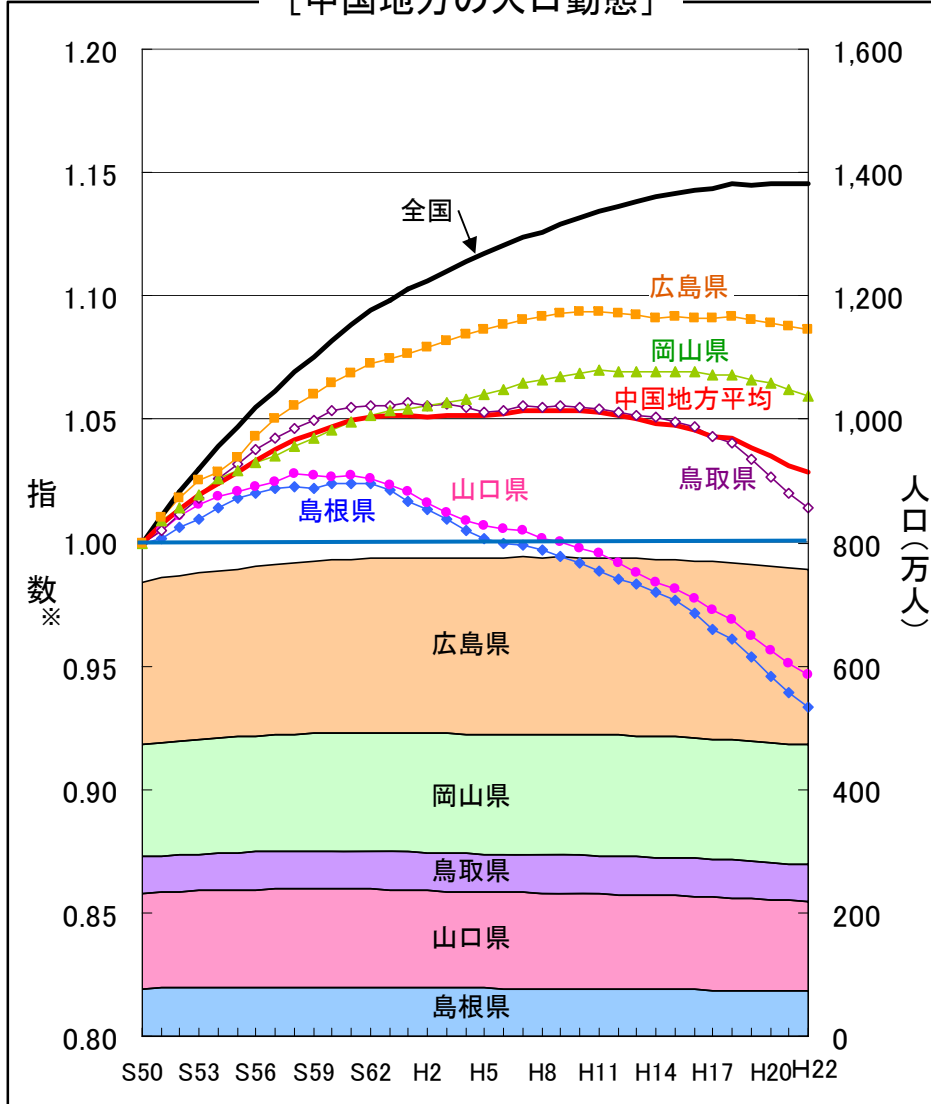
イベント種別	イベント名称	実施主体	実施期間	来場者数	概要
本四架橋開通を契機とした記念イベント	'85鳴門ピア ワールドフェスティバル	徳島県	昭和60年4月～6月	約50万人	鳴門総合運動公園をメイン会場に企業のパビリオンやコンサート等のイベントを開催。
	瀬戸大橋架橋記念博覧会 (瀬戸大橋博'88)	香川県、岡山県	昭和63年3月～8月	約650万人	倉敷市や坂出市を主会場に企業のパビリオンや瀬戸大橋を開放してのサイクリング、マラソン大会等のイベントを開催。
	明石海峡大橋開通 記念イベント	徳島県、兵庫県、 神戸市	平成10年4月	—	踊りサミット、世界サーフィン大会など兵庫、徳島県各地で700件を超えるイベントを開催。また神戸市、洲本市、徳島市が共同で観光PR、イベントを実施。
	しまなみ海道'99	愛媛県、広島県	平成11年4月～10月	約940万人	瀬戸内しまなみ海道国際スリーデーウォークやツール・ド・しまなみなど広島県、愛媛県各地で約1000件のイベントを実施。
本四架橋開通後、 利用促進、観光客 誘致拡大を目的と したイベント	瀬戸大橋開通10周年、 15周年、20周年記念イベント	岡山県、香川県 徳島県、高知県 他	平成10年4月 平成15年4月～10月 平成20年4月～10月	—	南北軸交流をPRした10周年記念、マリッジツアー、スカイツアー等を開催した15周年記念に続き、20周年記念では、瀬戸大橋を開放してのマラソン大会やスカイツアー、絵画コンクールなどを実施。
	京阪神三都夏祭り 共同キャンペーン	大阪市 他	平成10年5月～7月	—	京都市、神戸市と共同でお祭りのPRを実施。平成8年から実施しており、平成10年は明石海峡大橋開通による四国方面からの観光客誘致に着目し徳島市へのキャラバン隊派遣等を実施。
	大鳴門橋開通25周年 記念イベント	徳島県	平成22年3月～6月	—	淡路SAでのオープニングイベント、第9交響曲の演奏会、伝統芸能の公演、管理用通路のウォーキングイベントなどを実施。
本四架橋開通を契機に地域開発・産業振興の促進を目的としたイベント	'89海と島の博覧会ひろしま	愛媛県、広島県	平成元年7月	約400万人	西部臨海埋立地を主会場に、企業や自治体によるパビリオンを設置。島しょ部にサブ会場を設けイベントを開催。
	国際園芸・造園博覧会 ジャパンフローラ2000	兵庫県	平成12年3月～8月	約700万人	国営明石海峡公園と淡路夢舞台をメイン会場に、世界34カ国の庭園再現やイベント、シンポジウムを開催。

※ 各県市発表資料等により作成

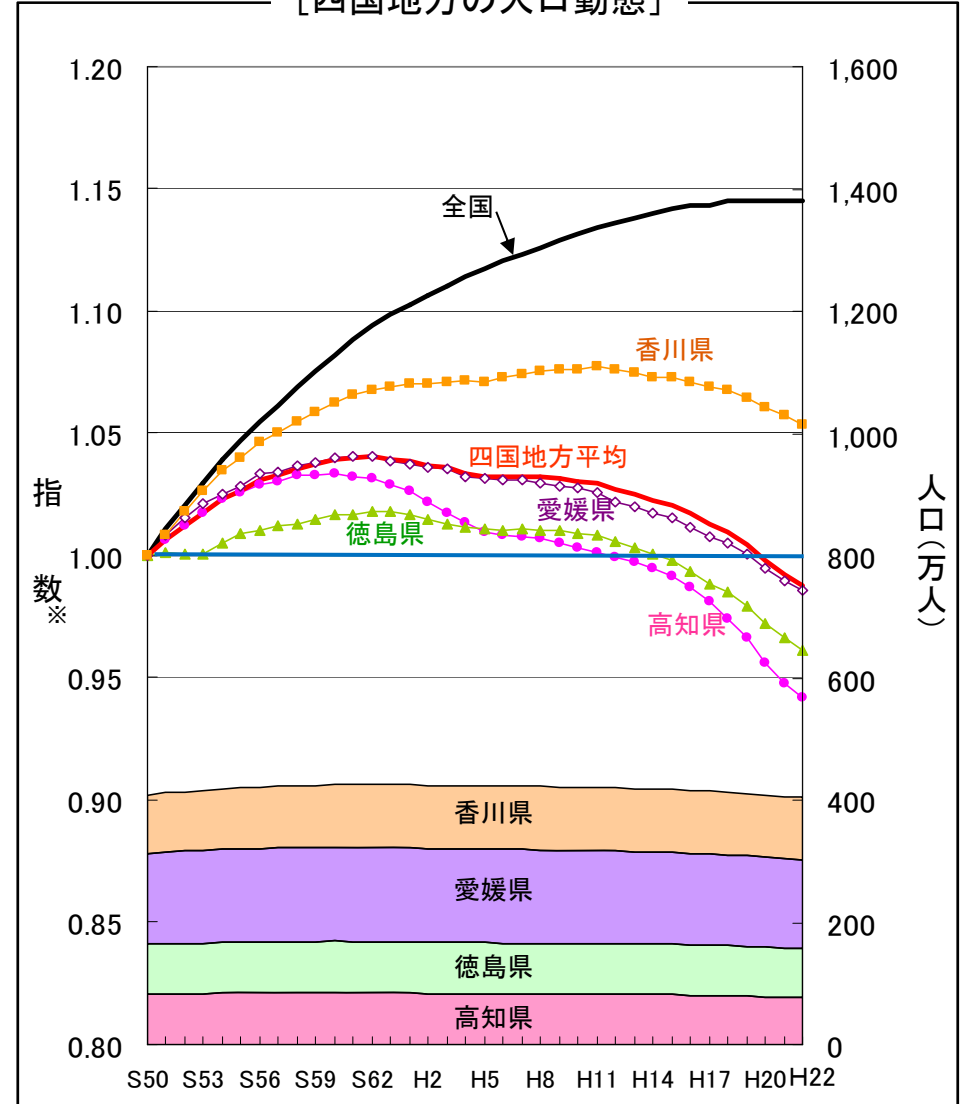
# 中国、四国地方の人口動態

○中国、四国地方の人口は全国と比べ伸率が低く、大きな減少局面にある県も存在。

[中国地方の人口動態]



[四国地方の人口動態]



※指数は昭和50年を1とした場合の割合を示す

出典:住民基本台帳(総務省統計局)

## 道路関係四公団の民営化について(抜粋)

平成14年12月12日  
政府・与党

### 2. 平成15年度予算に関連する事項

#### ① 本州四国連絡橋公団の債務処理等

有利子債務の一部(約1.3兆円)を切り離し、国の道路特定財源により早期に処理するとともに、国及び地方による出資の期間を平成34年度まで10年間延長することにより、将来における国民負担の膨張を避けるとともに、現行料金の引上げを前提とせずに本四架橋としての自立的経営を可能なものとする。また、基本料金の引下げについては、地方の追加出資(10年間延長)による経営改善効果等の範囲内で行うものとする。なお、民間債務の返済条件等の変更・繰上げ償還は行わない。

## 道路関係四公団民営化の基本的枠組みについて(抜粋)

平成15年12月22日  
政府・与党

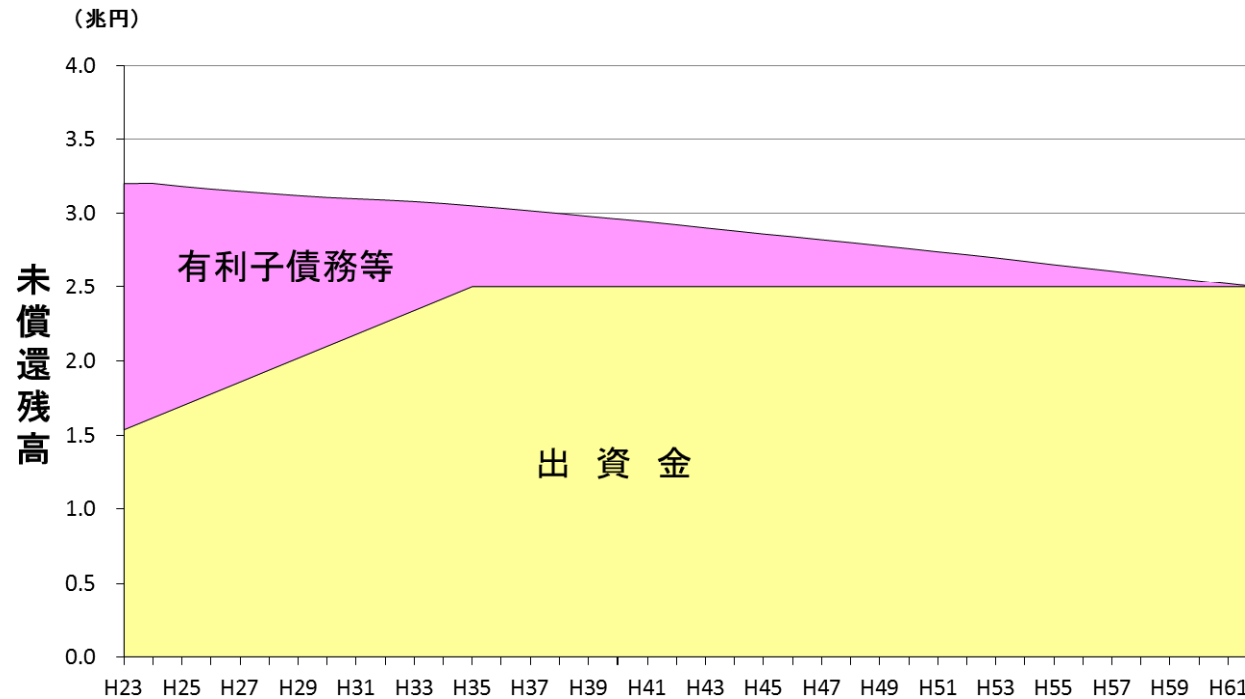
### 3. 新たな組織とその役割

#### (3) 債務返済の考え方

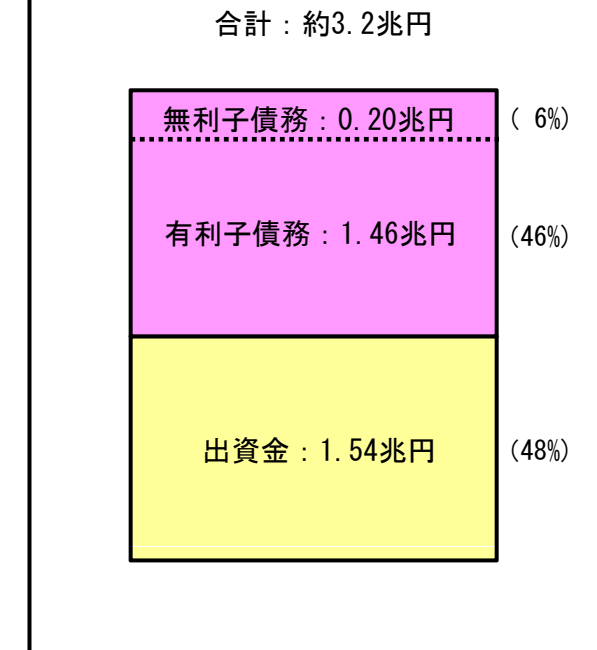
④ 本四道路については、平成34年度までの出資により、債務の適切な返済を図るとともに、基本料金の引き下げについては、地方の出資(平成24年度から平成34年度まで)による経営改善効果等の範囲内で行うものとする。

# 本四高速の償還見通し

本四高速の未償還残高の推移



H23年度期首の未償還残高の内訳



〔現協定上の主な条件〕

1. 交通量 : H20推計
2. 収入 : 新特別料金を前提(ETC特別割引、マイレージ割引、大口多頻度割引など、既存の割引を考慮)  
H23のみ利便増進事業による割引あり
3. 金利 : 将来金利4%
4. 出資 : H34まで800億円/年の出資



# 出資の有無による料金への影響

※普通車全線利用料金を記載

	現行料金(H23.6～H24.3)	新特別料金(H15～) 〔 H24からH34まで 国・地方の出資前提 〕	H24からH34まで 国・地方の出資が ない場合 <sup>注)</sup>
神戸淡路鳴門 自動車道 (神戸西IC～鳴門IC) 89.0km	平日3割引 3,815円	5,450円 (ETC 5,150円)	約10,000円
	休日5割引 2,725円		
瀬戸中央 自動車道 (早島IC～坂出IC) 37.3km	平日3割引 2,870円	4,100円 (ETC 3,874円)	約8,000円
	休日5割引 2,050円		
西瀬戸自動車道 (西瀬戸尾道IC～今治IC) 46.6km (無料部12.8km含まず)	平日3割引 3,290円	4,700円 (ETC 4,440円)	約9,000円
	休日5割引 2,350円		

注) 本四高速会社による概略試算値